



**1 石光寺**  
中將姫が蓮糸で織った曼荼羅を染めたとされる染の井という井戸がある。また牡丹の名所としても知られ、春牡丹と寒牡丹の開花期には多くの花見客で賑わう。



**2 傘堂**  
左基五郎が造ったと伝えられており、大池の東畔にある。三度祈願すれば、長い病に下(しも)の世話を人にかかず、自分も苦しむことなく、又、命が終わる時は人に迷惑をかけることもないという伝承がある。



**3 當麻寺奥院**  
當麻寺の一番奥に位置する奥院。當麻院の極楽浄土を表す境内最大の庭園「浄土庭園」には牡丹・紅葉をはじめ四季折々の花が咲く。



**4 當麻寺西南院**  
裏鬼門の守り寺院として創建されたのが始まりである。本堂には重要文化財の三観音を祀り、江戸時代初期の庭園では水琴窟の音も楽しめる。



**5 當麻寺護念院**  
中將姫の棲身跡寺院として多くの信仰を集めている。回遊式庭園は日本唯一の双塔を最も身近な借景とし、春には樹齢三百年以上のだれ桜、ばたん、大つつじ群の花々が楽しめる。



**6 當麻寺中之坊**  
當麻寺最古の由緒を伝える塔頭。本尊・導き観音の信仰の他、後西天皇が愛でた大和屈指の名園「香露園(こうくうえん)」や丸窓の茶室など文化財も豊富である。



**8 葛城市相撲館**  
相撲発祥の地を象徴する全国でも珍しい相撲の資料館。館内には本場所と同サイズの土俵があり、保管資料は約12,000点にもぼる。



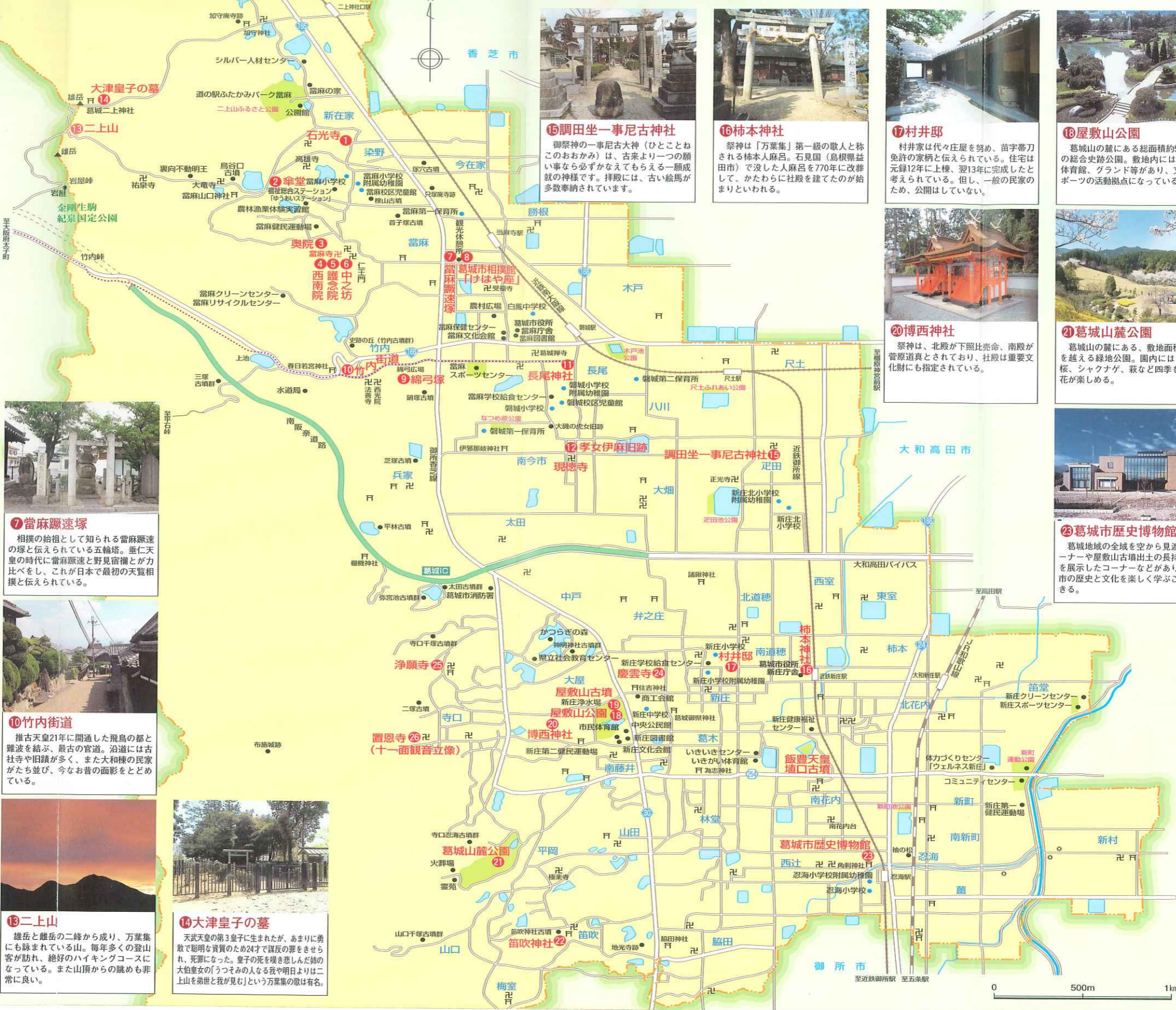
**9 綿弓塚**  
松尾芭蕉が門人千里の旧里である竹内に宿ったときに詠んだ句を記念し、文化年間建てられた句碑。芭蕉が詠んだ「綿弓や琵琶になぐさむ竹の奥」の句は有名。



**11 長尾神社**  
祭神は天照大神と豊受大神、水光姫命と白雲別命である。日本最古の官道である竹ノ内街道や初瀬街道の起点に鎮座している。大和に住む大蛇の頭は三輪明神にあり、尾は長尾神社まで至ったとの伝承もある。



**12 孝女伊麻呂跡**  
旧下市街道より伊那郡岐神社に向かう道を少し入ったところにある石碑。その昔、病弱な父親への孝行に生涯を尽くした孝女伊麻呂をたたえたもの。



**7 當麻蹴速塚**  
相撲の始祖として知られる當麻蹴速の塚と伝えられている五輪塔。垂仁天皇の時代に當麻蹴速と野見宿禰とが力比べをし、これが日本で最初の天覧相撲と伝えられている。



**10 竹内街道**  
推古天皇21年に開通した飛鳥の都と難波を結ぶ、最古の官道。沿道には古社寺や旧蹟が多く、また大和権の民家がたち並び、今なお昔の面影をとどめている。



**13 二上山**  
雄岳と雌岳の二峰から成り、万葉集にも詠まれている山。毎年多くの登山客が訪れ、絶好のハイキングコースになっている。また山頂からの眺めも非常に良い。



**14 大津皇子の墓**  
天武天皇の第3皇子に生まれたが、あまりに勇猛で聡明な資質のため24歳で謀反の罪をせられ、死罪になった。皇子の死を嘆き悲しんだ姉の大御皇女の「うつそみの人なる我や明日よりは二上山を弟世と我が見む」という万葉集の歌は有名。



**15 調田坐一事尼古神社**  
御祭神の一事尼古大神(ひとことねこのおおかみ)は、古来より一つの願い事なら必ずかなえてもらえる一願成就の神様です。拝殿には、古い絵馬が多数奉納されています。



**16 柿本神社**  
祭神は「万葉集」第一級の歌人と称される柿本人麻呂。石見国(鳥根県益田市)で没した人麻呂を770年に改葬して、かたわらに社殿を建てたのが始まりといわれる。



**17 村井邸**  
村井家は代々庄屋を努め、笛字帯刀免許の家柄と伝えられている。住宅は元禄12年に上棟、翌13年に完成したと考えられている。但し、一般の民家のため、公開はしていない。



**18 屋敷山公園**  
葛城山の麓にある総面積約58,000㎡の総合史跡公園。敷地内には公民館、体育館、グラウンド等があり、文化・スポーツの活動拠点になっている。



**19 屋敷山古墳**  
5世紀中頃の築造とされる前方後円墳(全長135m)で、古代豪族葛城氏に関係するといわれ、国指定史跡にもなっている。



**20 博西神社**  
祭神は、北殿で下照比売命、南殿が菅原道真とされており、社殿は重要文化財にも指定されている。



**21 葛城山麓公園**  
葛城山の麓にある、敷地面積12.1haを越える緑地公園。園内にはツツジ、桜、シャクナゲ、萩など四季を通じて花が楽しめる。



**22 笛吹神社**  
正式には「葛木坐火雷神社(かつらぎにいますほのかずちじんじや)」という。旧忍海郡14ヶ村の総鎮守。豊天然記念物に指定されているイチイガシが群生し、県指定史跡の笛吹神社古墳もある。



**23 葛城市歴史博物館**  
葛城地域の全域を空から見渡せるコーナーや屋敷山古墳出土の長持型石棺を展示したコーナーなどがあり、葛城市の歴史と文化を楽しむことができる。



**24 慶雲寺**  
布施氏の菩提寺となっている臨済宗南禅寺派の寺。本堂の大慈閣は大きめの三間堂で正徳年間に建てられたもの。境内に布施行種の墓がある。



**25 浄願寺**  
寺では行基の開山、もしくは文徳天皇の勅願によるといわれている。一旦は焼失したが、再建され、阿彌陀如来像を本尊とした。現在は子授け、水子供養に人々が訪れる。



**26 置恩寺**  
布施氏の氏寺。奈良時代のはじめ、行基が創建したと伝えられている。松一本造りの十一面観音立像が国の重要文化財に指定されている。